

“ふるさとを愛し、夢に向かって たくましく生きる子ども”



広野っ子



酒田市立広野小学校便り

令和4年1月15日

2022年 寅年 広野小 元気にスタート!

広野小学校の児童の皆さん、保護者及びご家庭の皆様、地域の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も、広野小学校は皆様のご理解とご協力を賜りながら“地域とともにある学校”として「ふるさとを愛し、夢に向かってたくましく生きる子ども」の育成を目指して最善を尽くしてまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。始業式では、次のようなお話をしました。



冬休みに入った途端、数年に1度の寒気とか、クリスマス寒波とかいわれる天候で、大雪が降りました。その後も何回も雪が降って今でも積もっています、酒田は、もともと風は強いし吹雪がおきやすい土地ではありますが、ここ数年のように雪がたくさん積もる状況は、私の子どもの頃の記憶にはありません。こういうところにも気候変動の影響があるのでしょうか。ところで、みなさんは良い冬休みを過ごすことはできましたか。生活のリズムが崩れてしまっている人はいないですね。

さて、3学期が始まりました。3学期は今年度を振り返り学校の一年を締めくくるだけではなく、4月にステップアップする準備のための大事な学期です。年間で最も短い学期ではありますが、一日一日を大切に過ごしましょう。3学期の広野小学校のテーマは「感謝」です。みなさんは感謝の気持ちを表すためにはどうすればいいと思いますか。私は一番伝わるのは心を込めて「ありがとう」とはっきり言うことだと思います。大きな声でなくても心がしっかりこもっているなら聞こえるくらいの声でいいのだと思います。大切なのは心がこもっているかどうかということです。もともと感謝ということは心の中ですることですから、心がこもっていなければ感謝とはいえないわけですね。また、感謝の気持ちはあいさつなどでも表せます。みなさんは登校する時に見守り隊のみなさんにあいさつをしていますか。どんな天気の時でもみなさんの交通安全をサポートして下さる見守り隊のみなさんです。叫ぶような大きな声でなくても、聞こえる大きさの声ではっきりと「おはようございます」とあいさつすることが「感謝」を伝える一番の方法だと思います。何かをやってもらっているのに知らないふりでは「感謝」の気持ちは伝わらないと思います。

児童会の活動の中で、これまであいさつに熱心に取り組んでくれています。ここでちょっと立ち止まってあいさつについて考えてみましょう。そもそも、あいさつとは「運動」するものなののでしょうか。私は、朝はできる限り昇降口の前に立ってみなさんを出迎えることにしていますが、それはみなさんの安全と、体と気持ちの健康状態を確認するためで、あいさつ運動をしようとは思っていません。表情が暗かったりうつむいていたりする人がいないか

を見ているのです。私の方から声をかけなくてもみなさんの方からあいさつをしてくれています。同じように、下校するとき校長室にもあいさつをしてくれる人がたくさんいます。最近、校長室の入り口でしっかり止まってこちらを向いてあいさつしてくれる人が増えています。こういうところからも気持ちが伝わるように思います。ていねいなあいさつはそれだけでされる方の気持ちを明るくしてくれます。あいさつをしてほしかったらどうすればよいでしょう。簡単です。自分からあいさつをすればいいのです。それで伝わるはずですよ。

話は変わりますが、2学期の終業式で、英語で外国の人と話ができるような人が学校の中で増えればいいなあというお話をしました。5・6年生の外国語の授業、3・4年生の外国語活動の時間は、今まで何回かお客さんが参観にいらっしゃっているのですが、その度に先生方の授業のやり方はもちろんですが、みなさんが授業に取り組む姿勢もとてもほめられています。Society5.0、超スマート社会といわれる時代です。実際に外国に行かなくてもオンラインで外国の人と簡単に繋がります。自分の気持ちや考えを伝える道具として英語は今まで以上に重要になります。感謝の気持ちを英語ではっきりと具体的に伝えることができる一層コミュニケーションが深まると思います。国語や算数、社会科や理科も大切ですが、英語に興味を持ち、中学生や高校生になっても英語が好きで得意だという人がたくさんいるといいなあと思います。英語の新聞を校長室の前に置いておきました。興味のある人はどうぞ手に取ってみてください。断ってくれば教室やお家に持って帰っても構いません。すでに何ヶ月も前の新聞ですし、なくなったら補充しますから遠慮なくどうぞ。

ところで、みなさんは「学校3.0」という言葉を聞いたことはありますか。これからの学校は先生から一方的に教えてもらうだけではなく、自分から疑問点や知りたいことを探して先生と一緒に勉強していくスタイルの学習活動もあるということです。先生よりみなさんたちの方が知っていることがあってもいいし、先生がすべて知っている必要もなくなってきています。先生に教えてもらう前に自分で学ぶ方法を考えて取り組んでみて、結果を友だちや先生に教えてあげることもできます。そんな機会を増やしたいなあと思っています。先生から教えてもらうのを待っているのではなく、積極的に自分から学びに向かっていきましょう。発表のしかたやプレゼンテーションのしかたをみなさんはすでに学んでいます。そんな力を使うのもいいでしょうし、タブレットを使えば調べられることもたくさんあるし、その方法もみなさんは知っているはずですよ。みなさんは授業でロイロノートを使いますが、私は使い方がよくわかりません。誰か私にロイロノートの使い方を教えてください。みなさんにいろいろなことを教えてもらうのが楽しみです。学校は児童も先生もお互いに学び合う形に変わりつつあります。やろうと思う気持ちがあれば、できることは無限大です。

最初にいったように、3学期は今年度の振り返りであるとともに、4月からの新しい年度に向けての準備と助走の学期です。1年生から5年生までは一つ上の学年に向けて、6年生は中学校生活に向けてのゼロ学期と考えましょう。登校する日は47日、寒い時期ですので体調管理や安全にいつも以上に気をつけながら、有意義な毎日をご過ごしませう。



1月12日、校内書き初め大会を行いました。